

日本地学教育学会 2021 年度第 1 回 常務委員会議事録

日 時：2021 年 9 月 10 日（金）18 時 00 分～19 時 45 分

場 所：Cisco Webex Meetings による web 会議

出席者：久田健一郎，伊藤 孝，小関純一，小森次郎，清水政義，宮下 治，中林俊明，西浦慎悟，澤口 隆，菅原久誠，高橋 修，林 慶一，藤原 靖，松本一郎，松本 現，間處耕吉，南島正重，吉本直弘，米澤正弘，（計 19 名）

議 題：

1. 前回（2020 年度第 5 回）議事録の確認

2. 本年度常務委員会の開催形態について（高橋）

本年度常務委員会も，引き続きオンライン形態での会議開催を基本とする事が承認された。ただし，状況をみながら対面での開催も随時検討することとなった。

3. 日本地学教育学論文賞の選考について（上栗：代読高橋）

論文賞の審査を継続して進め，次回，第 2 回常務委員会で審査結果を報告する。

4. ワーキンググループの設立に関して（久田会長）

会員活動の活性化をはかるため，学会としてワーキンググループの設立とそのサポートを積極的に行う方針が検討された。ワーキンググループの設立に関する手順（常務委員会で審査を経て許諾するものか）や，活動費などについて継続審議されることになった。

5. ジュニアセッション優秀賞の制度化について（高橋）

表記について審議され，今後の大会において同賞の授与を継続して行う事に決まった。ただし，審査の厳格化について更なる議論が必要となり，今後継続して審査の方法や評価基準について検討されることになった。

6. 若手研究者オーラル／ポスター優秀賞の制度化について（久田会長）

大会における表記の制度化について，ジュニアセッションと合わせて議論された。同賞についても，その制度化については反対の意見は無く，今後規約を整備し，審査の方法などについても引き続き常務委員会で議論されることになった。

7. 島根大会の準備状況について（松本）

2022 年度第 76 回全国大会島根大会の進捗状況について説明があった。開催期間は 2022 年 8 月 21 日（日）～25 日（木）。記念講演，ジュニアセッション，巡検，その他が例年通り予定されている。また，すでに報告されているように，島根大会は，IX GeoSciEd2022 島根大会と併行して開催され，日本地学教育学会は同大会を後援する。本学会員は，IX GeoSciEd2022 島根大会に横断的に参加することを可能とし，プログラムも日本地学教育学会島根大会との同時開催を念頭に組まれる予定である。また，大会参加費についても本学

会員の特待を予定している。

8. 入会者・退会者について（中林）

入会者：桐生和樹（長野）・井上 康（福井）・永沢亜矢子（茨城）・土門直子（山形）・北川英一（東京）・奥野 拓（大阪）・川勝和哉（兵庫）・西澤 輝（千葉）・江川 宣（広島）

退会者：大橋裕二・町田伸一・植木岳雪・里嘉千茂・平野まい

物故者：八巻富士男

*正会員 414, 購読有料会員 24, 購読無料会員 23, 学生 10, 在外 0, シニア会員 64, 名誉 3 : 合計 538.

報 告 :

1. 東京大会の終了について（宮下・中林）

第 75 回日本地学教育学会東京大会（オンライン）について終了報告があった。文部科学省，東京都教育委員会，全国高等学校長会，全日本中学校長会，全国連合小学校校長会，日本私立中学高等学校連合会，高等学校文化連盟全国自然科学専門部，日本理科教育協会，全国中学校理科教育研究会，全国小学校理科研究協議会，日本理科教育学会，東京都理化教育研究会などの後援を，9社の企業の方々から協賛をいただき開催された。

本大会のテーマは『変動する地球に生きるための地学教育』で，基調講演には，東洋大学渡辺満久先生に大会テーマに沿ってお話しを，また，オンライン巡検「成城学園周辺の地形・地質」「五日市周辺の地形・地質」などが開催された。

参加人数：124 名（ジュニアセッション参加者 45 名），巡検参加者 20 名。一般口頭発表 18 件，テーマセッション 9 件，e ポスターセッション 6 件，ジュニア e ポスターセッション 7 件。

2. 各種委員会報告

1) 「地学教育」編集委員会（西浦）

西浦編集委員長から「地学教育」についての編集・発行状況が報告された。

・原著論文 16 件，資料論文 8 件，総説論文 1 件，解説論文 2 件 = 計 27 件

（前回以降 資料論文 2、解説論文 1 の投稿あり）

・第 73 巻第 4 号 --- 2021/09/04 に公開（後，一部表記を修正）

・第 74 巻第 1 号 --- 原著論文 3 件，資料論文 1 件が掲載，英文校閲終了，出稿準備中

・第 74 巻第 2 号 --- 原著論文 2 件，資料論文 2 件が掲載，現在，取りまとめ中

特集号については，現在 10 件を審査継続中（1 編が取り下げ）。

J-Stage には，現在第 73 巻第 4 号まで公開。第 66 巻 第 1～5+6 号，第 67 巻 第 1～4 号については，既に J-Stage にアップロードされているが一部のページが対象から外れているので，後日別料金でアップロード対応を検討。

2) 「みんなの地学」編集委員会（廣木：代読高橋）

「みんなの地学」第 3 号の特集テーマは「地学教育おもしろアイデア集」。依頼原稿はなしで，学会員からの投稿のみとする。原稿が多く集まった時には，一部は第 4 号掲載とする。また，すでに刊行された「みんなの地学」の J-Stage への公開をすすめることが報告され

た.

3. その他

1) 関東支部イベント「おうちで地学日本全国ジオパークめぐり#1 萩」(菅原・小森)

関東支部のワーキンググループによる試行イベント「おうちで地学日本全国ジオパークめぐり#1 萩」の開催について進捗状況の説明があった。9月26日13時～15時にオンラインで開催。日本地学教育学会の会員に限らず一般に広く参加を募って開催する。参加登録(9月25日締め切り)。

*次回, 2021年度 第2回常務委員会 11月30日(火)開催。